

株式会社佐々木工業

Pick Up!

平成24年度

事業計画名

高精度ベンディングマシン導入による厚板長尺の一括板金加工システム構築

概 要

現在厚板、長尺の板金加工にて、プレス曲げ加工能力不足により、短尺化、溶接にて対応しているが、加工精度、リードタイム(納期)コストが課題となっている。

本事業により、厚板長尺の一括板金加工システムが構築でき、上記課題の克服が可能になり、顧客の多様なニーズに対して、迅速に対応可能な体制を構築することができる。

分 類

＜競争力強化の形態＞ 小口化・短納期化

＜22分野技術＞ 金属プレス加工

＜事業類型＞ 試作開発+設備投資

成 果

厚板、長尺の板金加工にて、曲げ加工能力不足により、短尺化、溶接にて対応していたが、本事業により、厚板長尺の一括板金加工システムが構築でき、顧客の多様なニーズに対して、迅速に対応可能な体制を構築することができた。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社佐々木工業（佐久市）

積極的な設備投資と人材への投資を続け、精密板金加工の“コンビニ”を体現。

モノの流れを重視した新工場

佐々木工業は1959年、プレス加工業として創業。1972年にベンダーを導入し、板金加工へとシフトし



インテリジェント自動倉庫と広々としたスペース

ました。人材育成による技術力向上と設備投資に力を入れ、±0.1ミリの加工精度を標準レベルとした精密板金加工が事業の柱です。

受注のほとんどが特注品や100個以内の小ロット品。医療機器や計量機器の製造許可も受け、加工精度、納期、コストで顧客の高い信頼を得ています。

「現場社員に作業指示書を出すだけで、一日の仕事の指示はしません。朝来た図面を夕方までに仕上げる、そういう特注・特急品で会社が成り立っているからです」と佐々木正行会長。そして、その“神業”が可能なのは社員23人中、一級技能士



工場に掲げられた一級・二級技能士合格証書

6人、二級技能士7人というハイレベルな技術者集団だからこそ、と胸を張ります。

他社に先がけて最新設備を積極的に導入。さらに独自の生産管理システムを構築し設備のネットワーク化、リアルタイム生産を実現し、高品質・低価格な製品の短納期化を可能にしてきました。

そして2017年7月、手狭になっていた佐久市工場団地内の工場を隣接地に移転し、敷地面積は約3倍、工場床面積は約2倍に。「モノの流れを重視したスペースとレイアウト」で工場内の通路を広く取り、6列10段の自動倉庫から材料を引き出し、加工工程、検査・梱包までワークフローが非常にスムーズになりました。

高い社員満足度

同社では厚板、長尺の板金加工のプレス曲げ加

工を短尺化と溶接で対応。加工精度と納期、コストに問題を抱えていました。



高精度ベンディングマシン

そこで、平成24年度ものづくり補助金を活用。最新鋭の高精度ベンディングマシンを導入し、一括板金加工システムを構築しました。「自動曲げ角度補正システムにより作業効率が上がり、ネットワークにつながったことで省力化とコストダウンが実現できました」と佐々木将臣社長。これにより総合技術力で国内トップクラスの競争力を獲得し、新規顧客拡大を目指しています。業績好調が続くこの機をとらえ、同社ではさらに新たな設備投資も視野に入れています。

設備投資とともに意欲的に行っているのが、人材への投資とワークライフバランスの充実。一級技能士、二級技能士の資格取得を目指した教育投資と取得者へのインセンティブなどを行う一方、社員の家族も含めたイベントの開催や快適な職場環境づくりにより社員満足度を高めています。



一般向けに販売するステンレス製品



株式会社佐々木工業

代表 代表取締役社長 佐々木将臣
創業 1959（昭和34）年10月
資本金 2,000万円 従業員数 24名
本社 佐久市中込3305



TEL.0267-67-1820 FAX.0267-67-1851
事業内容 精密板金加工、プレス加工、医療機器、板金加工設計・製造